

申請事業計画書 記入例

公益信託しまね女性ファンド申請事業計画書

(※平成31年度事業 前・後)

<p>(フリガナ) 団 体 名</p>	<p>ササエアイネットワーク ささえ愛ネットワーク</p>
<p>(フリガナ) 事 業 名</p>	<p>ミンナデマナブカイゴノコウザ みんなで学ぶ介護の講座 ～男女・地域が共に支える介護をめざして～</p>
<p>事業の趣旨・目的 ※この事業の意義や必要性、期待される効果等をご記入ください。</p>	<p>超高齢社会となった現代、介護は切実な問題である。その介護の大部分は女性が担いがちだが、近年は核家族化や晩婚化などで男性介護者が増え、さらに老々介護が増加し、様々な問題が生じている。 そこで、介護の現状や課題点等を学び、理解と意識啓発を図るとともに、介護を通して生き方や老い方についても考える機会となる講座を開催する。さらに、誰もが住み慣れた地域での生活を継続していくことができるよう、介護を地域で支える体制づくりをめざす。</p>
<p>事業概要 ※日時、会場、対象者、参加者数、演題、講師名、出演者等、具体的な事業内容をご記入ください。 ※広報手段をご記入ください。 ※過去にも同様の事業を実施したことがある場合は、前回との相違点(工夫した点)をご記入ください。 <u>★欄が不足する場合はA4用紙(横書き)で追加作成してください。</u></p>	<p>有識者の講演と身近な地域住民の事例紹介を含む講座を開催する。 事例紹介では、介護体験者の事例発表を対談形式で行い、地域で取り組んでいる介護者・要介護者への対応等の様子について発表してもらう。</p> <p>【日時】平成〇年〇月〇日(〇曜日) 10:30~15:30 【会場】〇〇センター ホール 【対象】介護者及び関心をお持ちの方(参加人数:200名程度)</p> <p>●内容 ①講演「これからの介護 ～男女がともに支え合い介護できる社会へ～」(90分) ・講師 〇〇大学教授 〇〇介護ネットワーク事務局長 〇〇〇〇さん **休憩(60分)** ②事例発表(対談形式50分) ・発表者 〇〇市在住の男女1名ずつ(聞き手:講演講師 〇〇〇〇さん) ③情報交換会(50分) ※ホールロビーに移動 …講師等を交えて、情報交換の時間を設ける(希望者のみ) ※講師及び発表者等のプロフィールは別添資料参照</p> <p>●後援等:(後援) 〇〇市・(協力) 〇〇ボランティアの会 ●広報:ポスター100枚、チラシ1,000枚作成。全戸回覧。市内の小売店や施設、病院等へ配付。市の広報誌への掲載やケーブルTVに広報依頼。</p> <p><過去との比較>昨年、「男女共同参画の視点で考える介護講座」を実施(別添チラシ参照)。その後、地域住民から要望があり、規模を拡大して有識者の講演を取り入れるほか、介護者と地域の人たちが話し合える情報交換の時間を設け、課題解決に向けよりよい連携がとれるよう工夫する。</p> <p>当事業の今後の継続性や活動計画 ※具体的にご記入ください。</p> <p>・来年度も継続して介護について考える講座を開催する。介護体験者や介護の現場で働く人の事例紹介等を通して学ぶ講座を多く取り入れる。 ・市や社会福祉協議会等と連携して、高齢者向けの運動教室やレクリエーション教室等を月2回程度行い、介護予防に繋げる。</p>

助成申込書と記入内容を一致させてください。

講師やゲスト出演者等がある場合は、プロフィール(紹介文書)を必ず添付してください。

- 【審査のポイント】**
- * 団体、グループのメンバー全員が目的を達成するために一丸となって実施する事業かどうか
 - * 事業内容が目的を達成するのに効果的なものかどうか
 - * 地域への影響力やかかわり、ネットワークの広がりがある事業かどうか
 - * 継続事業の場合は、相違・工夫が見られるか、前回の結果(反省)を踏まえた事業組み立てになっているか 等